

未定稿

「公共施設の再編に関する基本方針」骨子（案）

第1章 公共施設等の現状及び将来の見通し

公共施設等（白書で対象外とした社会基盤系（インフラ）も含む）及び市を取り巻く現状や将来にわたる見通し・課題を客観的に把握・分析する。

- 1 公共施設の老朽化の状況
- 2 総人口や年代別人口についての今後の見通し
- 3 公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みやこれら経費に充当可能な財源の見込み等

第2章 公共施設等の総合的かつ計画的な再編の目指すべき姿

上記「第1章」を踏まえ、公共施設等の総合的かつ計画的な再編に関する基本的な考え方を定める。

- 1 現状や課題に関する基本認識

充当可能な財源の見込み等を踏まえ、公共施設等の維持管理・更新等がどの程度可能な状況にあるか、総人口や年代別人口についての今後の見通しを踏まえた利用需要を考えた場合、公共施設等の数量等が適正規模にあるか。

2 公共施設等の再編に関する基本的な考え方（理念、方針）

現状や課題に対する認識を踏まえ、統廃合や長寿命化など、どのように公共施設等を再編していくか、将来的なまちづくりの視点も踏まえ定める。

- (1) 統廃合や複合化、用途転用、廃止の実施方針
- (2) 更新の実施方針
- (3) 長寿命化の実施方針
- (4) 耐震化の実施方針
- (5) その他

第3章 施設類型ごとの再編に関する検討フロー

上記「第2章」中、2の各項目のうち必要な事項について、施設類型の特性踏まえ、再編の検討に向けて、その判断の基礎となる評価手法を定める。

- 1 評価基準
- 2 評価指標

第4章 今後の取組み

上記「第3章」で掲げた手法に基づき、「公共施設再編に関する基本計画」を策定し、対象施設の再編方法や時期等について具体化していく流れを記載する。

- 1 「公共施設再編に関する基本計画」の策定
- 2 その他

「白書」、「2014公共施設現況報告書」がベース

第2ステップでの新規取り組み